



みんなで考えよう

平和と人権

「人権文化をすすめる市民運動」

第73回 ふれ愛シネサロン

鉄の暴風と言われた激しい空襲、艦砲射撃、
上陸戦の絶望に追い込まれた沖縄戦。
その中で「生きろ！」と後世に一筋の命を託した
2人の官僚と沖縄の人々の物語。

島守の塔

監督・脚本：五十嵐 匠

出演：萩原聖人／村上 淳／吉岡里帆 ほか

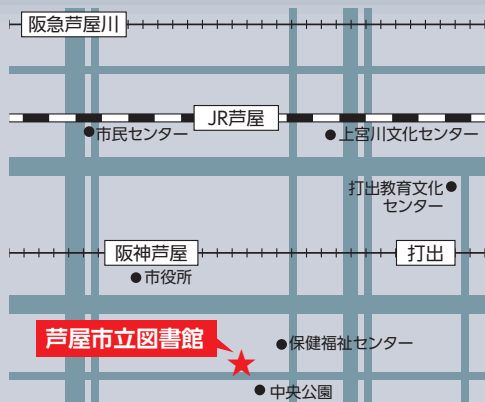
令和5年8月5日(土)

〈2回上映・30分前開場〉字幕あり

【午前の部】映画会 10:00～12:15

【午後の部】戦争体験者のお話（手話通訳あり）＆映画会 13:30～16:05

※上映の前に、戦争体験者のお話（15分）があります。



会場 芦屋市立図書館 2階集会室

芦屋市伊勢町12番5号

※駐車場は1時間無料ですが、台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※阪急バスで緑町または中央公園前下車、徒歩2分（臨港線北側）

●手指消毒・マスクの着用にご協力をお願いします。

入場料 無料

定員 各回70名[先着]

申込方法 7月5日(水) 午前9時より受付開始

●専用の「申込みフォーム」よりお申し込みください。

●託児申込み：定員各回3人（6か月～未就学児）

※電話でのお申し込みは、人権・男女共生課まで

問合せ 芦屋市 人権・男女共生課
TEL.0797-38-2055

主催 芦屋市・芦屋市教育委員会

申込フォーム



申込締切
7月28日(金)まで

同時開催

平和の絵本の読み聞かせ

未就学児対象 10:00～10:30

小学生対象 10:30～11:00

会場 1階よみかぜの部屋

平和に関する本・絵本も展示しています。

申込不要

親子で参加
できます

©2022映画「島守の塔」製作委員会

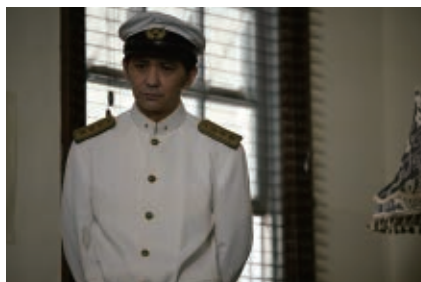


県民の4人に1人、20万人が犠牲となった日本国内唯一の地上戦「沖縄戦」。
 命を懸けて「命(ぬち)どう宝、生きぬけ!」と叫び続けた2人の官僚と、
 命の重みを受け継ぎ「沖縄戦」を生き抜いた沖縄県民。
 それぞれの苦悩と生きることの奮闘を描き、
 本土復帰50年の節目に「命の尊さ」を次世代に継承する映画が誕生しました。

沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。戦中最後の沖縄県知事として赴任し、
 軍の命令に従いながらも苦悩し、県民疎開・保護に尽力した島田^{あきら}勲（兵庫県出身）と、島田と行動
 を共にし、職務を超え努力した警察部長の荒井退造。2人から命の重みを受け継いだ沖縄県民の戦火
 に翻弄されながらも必死に生きるそれぞれの姿を描きます。島田勲役には映画やドラマ、ナレーション
 など幅広く活躍している萩原聖人。荒井役には日本映画界に欠かせない俳優・村上淳。実力派俳優の
 共演が実現した。また、島田の世話役の県職員・比嘉凜を吉岡里帆が熱演。凜の妹で看護学徒隊の
 比嘉由紀を池間夏海が、映画「ひめゆりの塔」に出演していた香川京子が現代の凜を演じている。
 監督は「地雷を踏んだらサヨウナラ」など社会派作品で知られる五十嵐匠。



萩原 聖人



村上 淳



吉岡 里帆